

# 市民生活部

地域活動推進課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	04	市民協働推進費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		地域支え合い推進事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
12,036,000	11,120,203		0		915,797		92.4%				
1 事業目的	<p>地域住民が、自治会、NPO法人等の市民活動団体、企業等との連携により、日常の暮らしの中で共に支え合い、助け合いながら、地域の課題を地域で解決できる仕組みをつくる。</p>										
2 事業内容	<p>■運営費・事業費補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会</li> <li>・富士見地区地域支え合い協議会</li> <li>・サザン地域支え合い協議会</li> <li>・杉下地域支え合い協議会</li> <li>・西部地域支え合い協議会</li> <li>・つるがしま中央地域支え合い協議会</li> </ul> <p>■放課後子ども教室補助金の交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特定非営利活動法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会</li> <li>・富士見地区地域支え合い協議会</li> <li>・サザン地域支え合い協議会</li> <li>・杉下地域支え合い協議会</li> </ul>										
3 成 果	<p>■地域住民が主体となって、助け合い隊、高齢者の見守り、子育て支援事業、防災などの取組を行っている。平成28年6月には、中新田・新町・上新田・町屋・高倉・下新田の一部の地区に西部地域支え合い協議会、藤金・星和若葉台・共栄地区につるがしま中央地域支え合い協議会が設立し、翌年3月から両協議会で助け合い隊事業がスタートしている。その他の事業についても、地域住民が地域課題の把握に努め、事業を検討している。</p>										

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	07	情報システム費				
政策5	将来を見すえた市政運営	事業名		公共施設予約運営事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率					
18,192,000	14,471,808	0		3,720,192	79.6%						
1 事業目的	公共施設予約システムの維持管理と、運用開始から6年が経過した公共施設予約システムの更新を図る。										
2 事業内容	<p>■公共施設予約システムの維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設予約システムを円滑に運用するため維持管理を行った。</li> <li>・公共施設において予約できるよう市内11施設に市民用パソコンを設置し、提供した。</li> </ul> <p>■公共施設予約システムの更新に係る新システムの導入</p> <p>運用開始から6年が経過した公共施設予約システムの利便性の向上を図るために、以下の改善を重点に更新した。新システムは、平成29年3月1日から稼働した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単純で直観的なデザインで、キーボードやマウスの他に、タッチパネルが対応できるものとした。</li> <li>・携帯電話、スマートフォン対応とし、いつでもどこでも簡便に予約可能とした。</li> <li>・施設の使用申請、使用許可の手続きを見直し、テニスコートやグラウンドの無料の施設ではシステム上で予約から使用申請までを完結し、手続きの簡素化を図った。</li> </ul>										
3 成果	<p>■平成29年3月1日から新システムの運用を開始した。キーボード入力を極力なくし、選択する形で予約操作を進めることとなり、キーボード操作に不慣れな方の利便性の向上が図れた。無料の施設では、システム上で予約から使用申請、使用許可までを完結し、手続きの簡素化を図った。</p>										

地域活動推進課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策2	活力に満ちたまち		事業名		市民センター地域活動支援事業						
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
500,000	472,117		0		27,883		94.4%				
1 事業目的	多彩な人材に恵まれている本市の特性をまちづくりに活かすため、地域づくりの担い手の発掘・育成に向けた取組みや、市民・市民活動団体などの活動を支援し、連携・協働による地域づくりを推進する。										
2 事業内容	<p>■ プレーパーク活動支援事業費補助金の交付 補助金交付団体：N P O 法人 あそび計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おちかくプレーパーク 身近な公園を使って、子どもたちが外遊びの楽しさを実感するとともに、子ども文化の充実や遊ぶことの大切さなどを大人に感じてもらうことを目的として開催した。 開催回数 全5回（7月、9月、12月、1月、2月） 備 考 11月は雨天のため中止</li> <li>・プレーパークまつり 子どもたちが地域の自然を活用して自由に遊ぶことで、自然と親しみ、自分の力で遊びを創造していく子どもたちを育成する目的として開催した。 開催日：平成28年9月3日（土） 会 場：第8号藤金市民の森</li> <li>・学習会 「子どもが遊べる”まち”をつくろう！」 開催日：平成29年3月27日（月） 講 師：関戸 博樹氏(一般社団法人TOKYOPLAY、N P O 法人日本冒険遊び場作り協会)</li> </ul>										
3 成 果	■ おちかくプレーパークでは市内の公園を会場に5回開催し290人が参加した。また、プレーパークまつりでは280人が参加があった。保護者も子ども達の遊ぶ姿にふれることで、遊ぶことの大切さや大人が遊び場を確保していくことの必要性等に気づく機会となった。さらに、大人を対象とした学習会に、12人が参加しイギリスでの遊び環境づくりの実態を学んだ。										

(単位：円)

地域活動推進課		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		アクティブシニア社会参加支援事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
2,300,000	1,656,614		0		643,386		72.0%				
1 事業目的	<p>地域活動に参加をしていないシニアを対象に、地域活動に参加するきっかけとなるイベントや講座を開催し、地域づくりの担い手の発掘・育成に向けた取組を行い、市民が共に支え合う地域づくりを推進する。</p>										
2 事業内容	<p>■「地域デビューきっかけ広場」        開催日：平成28年11月23日（水・祝）        会場：ワカバウォーク、市民活動推進センター</p> <p>■地域活動を促すためのきっかけとなる講演会        「定年後の豊かな人生の組み立て方」        開催日：平成28年11月23日（水・祝）        会場：市民活動推進センター        講師：松本 すみ子氏（シニアライフアドバイザー）        備考：地域デビューきっかけ広場にて開催        「自治を回復し、まち・むらの課題を、まち・むらの力で解決するために」        開催日：平成29年3月24日（金）        会場：市役所        講師：川北 秀人氏（I I H O E代表者）</p> <p>■地域活動を促す講座        「地域コーディネーター養成講座（全4回）」        委託先：（株）エンパブリック        会場：市役所        「傾聴ボランティア養成講座（全3回）」        講師：保正 友子氏（立正大学社会福祉学部教授）        会場：市役所</p> <p>■アクティブシニア社会参加支援事業に関する事務に従事する臨時職員賃金</p>										
3 成果	<p>■地域デビューきっかけ広場の開催では参加団体32団体、ステージ発表観覧者：延べ145名、パネル展示で参加団体から説明を受けた方、延べ320名あり、そのうち当日参加団体に入会を希望した方が24名だった。</p> <p>■地域活動を促すためのきっかけとなる講演会の参加者は146名だった。</p> <p>■地域活動を促す講座は延べ119名の参加があり、傾聴ボランティア養成講座受講生の有志で、傾聴ボランティアの団体が設立した。</p>										

(単位：円)

東市民センター		一般会計							
		款		項		目			
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費		
政策2	活力に満ちたまち			事業名		東市民センター運営事業（繰越明許費分）			
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率 繰越除く執行率		
23,438,000	20,190,600		—		3,247,400	86.1%			
1 事業目的	<p>東市民センター内に設置された給水設備と空調設備に不具合が生じ、機能が著しく低下しているため、緊急に修繕並びに更新工事を実施し施設の機能維持を図る。</p>								
2 事業内容	<p>■受水槽自動給水装置交換修繕 経年劣化が著しく、漏水等の不具合が生じたために受水槽給水ポンプ2台について緊急に交換修繕を実施した。 工期 平成28年4月7日（木）～5月31日（火）</p> <p>■空調更新工事 学習等供用施設系統の空調設備に相次いで不具合が生じ、大規模な改修が必要となったため、更新工事設計業務並びに更新工事を緊急に実施した。 なお、空調設備は従前の集中熱源（冷温水発生機）による單一ダクト方式から各室にパッケージ空調機及び全熱交換機（換気）を設置した。</p> <p>【空調更新工事設計業務】 工期 平成28年4月7日（木）～6月3日（金）</p> <p>【空調更新工事】 工期 平成28年6月23日（木）～9月30日（金）</p>								
3 成果	<p>■受水槽給水ポンプは修繕後、安定して稼働するようになった。</p> <p>■更新した空調設備は安定、かつ良好に稼働した。各室に設置したパッケージ空調機及び全熱交換機（換気）は、個別に稼働できるため、利用実態に合わせた対応が可能となった。</p>								

(単位：円)

東市民センター		一般会計									
		款	項	目	決算書頁						
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策4	人を育むまち			事業名		東市民センター講座等開催事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
68,000	42,892		0		25,108		63.1%				
1 事業目的	地域の拠点施設として、市民を対象に市民が主体的に地域課題を解決するため、学習の機会の提供や市民協働の地域づくりを進めるための事業を実施する。										
2 事業内容	<p>■第2回結桜まつり 利用団体・サークル等による活動成果の発表と地域の団体等との交流を通して利用団体等が、日頃の活動成果を発表し、地域住民及び利用団体相互の交流を図るため実施した。        ・開催日 平成28年4月2日、3日        ・会場 東市民センター</p> <p>■第35回どんど焼き 伝統文化を継承するとともに市民の交流を深め、住みよい地域づくりを図るため実施した。        ・開催日 平成29年1月14日        ・会場 東市民センター</p> <p>■高齢者学級「いきがい学級」 高齢者が老後を豊かに過ごすための教養や趣味を身につけ、また、仲間づくりを図りながら、積極的な社会参加等を促進するため実施した。        ・開催回数 全9回（6月から3月）        ・会場 東市民センター</p> <p>■夏休み子ども体験教室 子どもたちにものづくりの楽しさや日常生活では体験できない遊びなど学習機会を提供するとともに、利用団体や地域の方との交流を図るため実施した。  <b>【夏休み子ども体験教室】</b>        ・開催日 平成28年7月25日、27日、29日        （全3講座 各講座1日）        ・会場 東市民センター</p> <p><b>【夏の星空観測会 星空d eナイト】</b>        ・開催日 平成28年8月25、26日        ・会場 東市民センター</p>										
3 成 果	<p>■東市民センター主催事業の「結桜まつり」や「どんど焼き」はサークル、利用者の会など多くの地域団体が参加し、連携を一層深めながら協力して開催したことで、地域での交流が活性化しつながりを構築することができた。</p> <p>■地域団体との地域サロン事業や東市民センターで活動するサークル、団体との共催で実施した地域還元講座の開催を通じて、各年代の地域住民との交流を深め、住みよい地域づくりを促進できた。</p>										

東市民センター		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策4	人を育むまち			事業名		成人式開催事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
392,000	335,285		0		56,715		85.5%				
1 事業目的	<p>国民の祝日に関する法律（祝日法）において「おとなになったことを自覚し、みずから生き抜こうとする青年を祝いはげます」と定めた成人の日に合わせて、鶴ヶ島市民が地域で祝う成人式を開催する。また、新成人者及び地域の方々を中心に企画運営する『成人者のつどい』も併せて行う。</p>										
2 事業内容	<p>■開催日 平成29年1月8日        ・国民の祝日に関する法律（昭和二十三年七月二十日法律第百七十八号）で定める「成人の日」（一月第二月曜日）前日の日曜日に開催した。</p> <p>■主 催        鶴ヶ島市、鶴ヶ島市教育委員会</p> <p>■対象者        原則として市に住民登録があり、前年の4月2日からその年の4月1日に成人する人を式典参加の対象にする学齢方式を採用。平成29年成人式の対象者は平成8年4月2日から平成9年4月1日生まれの人。</p> <p>■会場及び日程        ・市民センターを会場とする。        会場 対象学区        北市民センター 鶴ヶ島中学校        西市民センター 西中学校        大橋市民センター 南中学校        南市民センター 藤中学校        富士見市民センター 富士見中学校</p> <p>・実施時間（5会場同時開催）        式典 約20分        成人者のつどい 約1時間        ※成人者のつどい実行委員会に委託</p>										
3 成 果	<p>■平成29年成人式は対象者724人に対し出席者517人であり、出席率は71.4%となり0.4%増となった。</p> <p>対象者 男373人、女351人、計724人        出席者 男265人、女252人、計517人        (出席率71.4% -前年71.0%-)</p>										

南市民センター		一般会計									
		款		項		目					
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策4	人を育むまち		事業名		南市民センター講座等開催事業						
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
53,000	37,027		0		15,973		69.9%				
1 事業目的	地域住民、地域団体の協働により、地域の課題を地域で解決していく仕組みを進めるとともに地域で支え合う福祉・健康づくりを進めるための事業を実施する。										
2 事業内容	<p>■高齢者事業          高齢者学級、リハビリ交流事業をおして、交流会や学習会等を実施。          ・高齢者学級（ふれあい学級）          時期：6月～3月          回数：全10回</p> <p>・生きがいリハビリ交流事業（ときめきサロン）          時期：4月～3月          回数：全20回</p> <p>■地域課題講座          講義、実技等          ・笑って考えよう！熟年のステージへ男も大変だ！男女共同参画社会～平成29年1月29日（日）          ・マイナンバーの現状について 遺言・成年後見について 平成29年3月25日（土）</p> <p>■子ども対象事業          放課後☆子どもの広場をおして、子どもたちの育ちを支援した。          時期：4月～3月          回数：16回</p> <p>■南どんぐりまつり          実行委員会を結成し、各利用団体及び地域の方々の協力を得ながら、子どもから高齢者まで楽しめる「まつり」を企画した。隣接するどんぐり公園にテントを張り、「どんぐり村」と称して、ステージや模擬店、子どもの遊びなど親子で楽しめる催しを行った。          開催日：平成28年10月1日（土）2日（日）          参加団体：91団体（コーナー重複含む）</p> <p>■健康講座          講義、実技等          ・食事と生活習慣で「体内美人」になる方法！          平成29年3月23日（木）          ・体を壊す食事・体を良くする食事          平成29年3月30日（木）</p>										
3 成 果	<p>■南どんぐりまつり          21の地域団体の参加協力があり、全体としては86団体が参加。平成27年度の参加団体数を大幅に上回り、盛大に執り行うことができた。</p> <p>■健康講座          子育て世代から高齢者まで幅広い年代の参加があり、日々の食生活を見直すきっかけづくりにつながった。地元講師の講座という点で地域連携ができた。</p>										

北市民センター		一般会計				決算書頁 68~71
		款	項	目		
		02 総務費	01 総務管理費	18 市民センター費		
政策4	人を育むまち		事業名	北市民センター講座等開催事業		
予算現額	支出済額		翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率
77,000	46,739		0	30,261	60.7%	
1 事業目的	市民が主体的に地域課題を解決するため、学習の機会の提供や市民協働の地域づくりを進めるための事業を実施する。					
2 事業内容	<p>■北市民まつり 施設を利用する団体の活動成果の発表や還元、地域住民の交流の場として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年6月4日、5日</li> <li>・会場 北市民センター</li> </ul> <p>■高齢者学級「さわやか学級」 高齢者が健康で心豊かに過ごすため、生活課題等について学ぶとともに、世代間交流など社会参加等の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 10回</li> <li>・会場 北市民センター 外3か所</li> </ul> <p>■生活課題事業「ハートフルコンサート」 地域の音楽家を中心とする演奏会を行うことにより、音楽をとおして地域住民の交流を図ることを目的として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年4月24日</li> <li>・会場 北市民センター</li> </ul> <p>■生活課題事業「夏の子ども体験教室」（共催：脚折児童館） 施設利用サークルの活動成果を子どもたちに還元することにより、学校ではできない実習や体験の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 6教室</li> <li>・会場 北市民センター</li> </ul> <p>■子育て講座「らぽおるコンサート」（共催：脚折児童館） 子育て支援や世代間交流を目的として、親子で一緒に楽しめるコンサートを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成29年2月1日</li> <li>・会場 北市民センター</li> </ul>					
3 成果	■北市民まつりは2,800人が参加、高齢者学級は60歳以上の高齢者35人が参加、ハートフルコンサートは190人が参加、子ども体験教室は延べ107人が参加、全ての事業が大変好評であった。今後も高齢者の生きがいや仲間づくり、地域の交流を目的とした事業を推進していくために、これまで以上に創意工夫をしながら実施していくものとする。					

(単位：円)

富士見市民センター		一般会計							
		款		項		目	決算書頁		
		02	総務費	01	総務管理費	18 市民センター費	70~71		
政策4	人を育むまち			事業名	富士見市民センター講座等開催事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
88,000	84,554		0		3,446	96.1%			
1 事業目的	事業の実施を通して、地域の横のつながりを強化し、自治会、支え合い協議会等と連携し、地域の課題は地域で解決していく地域づくりのため実施する。								
2 事業内容	<p>■第28回富士見わかばまつり 利用団体・サークル等による活動成果の発表と地域の団体等との交流を通して、地域でのつながりとまちづくりの輪を広げるため実施した。 ・開催日：平成28年5月7日～8日</p> <p>■生きがいリハビリ交流事業「笑うひまわりサロン」 高齢による虚弱、疾病等による中途障害のため、社会での活動が難しく孤立しがちな人に対し、閉じこもりを防止し、生きがいのある生活が送れるよう援助するため実施した。 ・開催日：平成28年4月14日～平成29年3月23日 計18回</p> <p>■高齢者学級「わかば学級」 高齢者が地域で生き生きと健康で心豊かに生活するために実施した。 ・開催日：平成28年6月22日～平成29年3月8日 計11回</p> <p>■高齢者の人権講演会 多職種でチームを組み、24時間365日対応の在宅医療を行う先進事例を学んだ。 ・開催日：平成29年3月4日</p> <p>■地域防災事業 熊本地震災害から地域防災について学ぶ講演会及び会議を開催した。 ・開催日：平成28年10月20日</p> <p>■根こそぎ大作戦・チャレンジ炊き出し交流会 地域で連携して、中学校の除草・剪定作業や清掃を行い、併せて煙体験と炊き出し体験を行った。 ・開催日：平成29年1月14日</p>								
3 成 果	■地域の拠点施設として、地域課題である高齢化や防災、子育て支援などの事業を行うことで、地域住民同士のつながりを強くし、それぞれの課題解決へ地域で取り組む体制づくりへの一助となった。								

(単位：円)

富士見市民センター		一般会計									
		款		項		目	決算書頁				
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		富士見市民センター改修事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
9,396,000	9,396,000		0		0		100.0%				
1 事業目的	富士見市民センターにあるエレベーターの部品の製造中止（平成29年9月から）で、修理が困難になるため、リニューアル工事を行う。										
2 事業内容	<p>■乗用エレベーターの老朽化に伴うリニューアル工事 (油圧式からロープ式に変更)</p> <p>リニューアルに伴い、地震時管制運転装置の設置、停電時自動着床装置取り付け、遠隔監視システムの導入を行った。</p> <p>積載量：750kg 定員：11名 速度：4.5m/分 停止箇所：2か所（1～2階） 制御方式：交流インバータ制御 操作方式：乗合全自動方式</p>										
3 成 果	■高齢者や障害者、小さい子ども連れの方が2階の部屋を利用する場合や楽器の運搬、重い物の移動など、エレベーターの利用が必要な際の安全性が向上した。										

大橋市民センター		一般会計										
		款	項	目	決算書頁							
		02	総務費	01	総務管理費	18 市民センター費						
政策4	人を育むまち		事業名	大橋市民センター講座等開催事業								
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率						
75,000	69,352	0		5,648	92.5%							
1 事業目的	高齢者・障害者等が暮らしやすい地域となるため、事業等を通して地域で支えあえる関係を築くための事業を開催する。											
2 事業内容	<p>■虹の大橋まつり 大橋市民センターを拠点に活動するサークル・団体の日頃の活動成果を広く地域に発表（舞台発表、作品展示、模擬店等）していくとともに、地域の人々の交流の場とするために実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年10月22日 10月23日</li> <li>・会場 大橋市民センター・大橋児童館・学童保育室たんていクラブ</li> </ul> <p>■高齢者学級「いきいきクラブ」 人生をより豊かに過ごすために知識や教養を身につけるとともに、他人と触れ合うことで地域での仲間づくりを推進し、生きがいや他人の魅力を発見する機会とした。講座、体操、料理、コーラス、工作、市議会見学等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 計9回</li> <li>・会場 大橋市民センター、市役所等</li> </ul> <p>■障害者青年学級「ひかる」 障がいのある若者が活動を通して社会性を広げ、地域の中での様々なルールを学びながら、余暇活動を充実させることを目的に開催した。話し合い、料理、カラオケ、ボーリング、バスでお出かけ、映画鑑賞等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 計10回</li> <li>・会場 大橋市民センター、サイボクハム等</li> </ul> <p>■自然農法の野菜づくり講座等 人と自然にやさしい有機農法を市民に推進するため、EM菌を使用した自然農法を学ぶ講座として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催回数 計20回</li> <li>・会場 大橋市民センター</li> </ul>											
3 成果	<p>参加延べ人数（虹の大橋まつりのみ参加人数）</p> <table border="0"> <tr> <td>■虹の大橋まつり：約2,700人</td> <td>■高齢者学級：288人</td> </tr> <tr> <td>■障害者青年学級：190人</td> <td>■自然農法の野菜づくり講座：294人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">・各事業とも、事業内容は大橋市民センター利用者の会や事業参加者によって決定、学習の場づくりを達成した。また事業参加者が事業を超えて交流できる場として、虹の大橋まつり等で地域の方との交流につなげた。</td></tr> </table>						■虹の大橋まつり：約2,700人	■高齢者学級：288人	■障害者青年学級：190人	■自然農法の野菜づくり講座：294人	・各事業とも、事業内容は大橋市民センター利用者の会や事業参加者によって決定、学習の場づくりを達成した。また事業参加者が事業を超えて交流できる場として、虹の大橋まつり等で地域の方との交流につなげた。	
■虹の大橋まつり：約2,700人	■高齢者学級：288人											
■障害者青年学級：190人	■自然農法の野菜づくり講座：294人											
・各事業とも、事業内容は大橋市民センター利用者の会や事業参加者によって決定、学習の場づくりを達成した。また事業参加者が事業を超えて交流できる場として、虹の大橋まつり等で地域の方との交流につなげた。												

西市民センター		一般会計					
		款		項		目	
		02	総務費	01	総務管理費	18	市民センター費
政策4	人を育むまち			事業名		西市民センター講座等開催事業	
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率
79,000	11,560		0		67,440		14.6%

  

1 事業目的	高齢者や障害を持つ人が暮らしやすい地域となるために、事業や交流を通して地域で支え合える関係を築くため事業を開催する。
2 事業内容	<p>■第14回 郷学の森まつり 利用団体・サークル及び利用者等の活動成果の発表と、地域住民及びサークル等の交流を図るため開催した。 ・開催日 平成28年9月24日、25日 ・会場 つるがしま郷学の森</p> <p>■高齢者学級「やすらぎ学級」 地域の高齢者に教養や趣味等の学習の場を提供し、生きがいと仲間づくりに役立てるため実施した。 ・開催回数 計10回 ・会場 西市民センター、その他</p> <p>■生きがいリハビリ交流事業「ほほ笑み」 高齢による虚弱のため、社会での活動が難しく孤立しがちな人に対し閉じこもりを防止し、生きがいのある生活が送れるよう援助するため実施した。 ・開催回数 計23回 ・会場 西市民センター</p> <p>■子育て講座「親子でハッピータイム」 人形劇を通して、子どもの感受性を育むことにより、よりよい親子関係を築くことを目的に開催した。 ・開催日 平成28年7月20日、12月14日、平成29年3月22日 ・会場 西市民センター</p> <p>■家庭教育学級 人権講座「反抗期の子供との接し方、コミュニケーションの取り方」 子どもに関する問題の解決を目的に開催した。 ・開催日 平成28年10月7日 ・会場 西市民センター</p>
3 成 果	■第14回郷学の森まつりには延べ2,000人、高齢者学級には延べ274人、生きがいリハビリ交流事業には延べ241人、子育て講座には延べ157人、家庭教育学級人権講座には50人の参加があり、地域住民間での交流が図れたことにより仲間づくり、地域で支え合える関係を築く機会となった。

(単位：円)

安心安全推進課		一般会計					
		款		項		目	
		02	総務費	01	総務管理費	14	安全対策費
政策 1	健やかで安心できるまち		事業名		地域防犯推進事業		
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率
3,387,000	3,075,940		0		311,060		90.8%

  

1 事業目的	市民の防犯に対する意識の高揚を図るため、自治会などに防犯意識を啓発するのぼり旗を配布するとともに、警察や防犯協会、地域防犯推進委員などと連携し、防犯普及啓発活動の充実を図る。
2 事業内容	<p>■防犯キャンペーン 年金支給日に合わせて市内各地で啓発活動を行い、振り込め詐欺の被害防止について呼び掛けた。 実施日：原則、年金支給日（偶数月の15日） 実施場所：金融機関、ATMの設置されたスーパーマーケット等</p> <p>■市民青色防犯パトロール 市民センターの公用車（北・富士見除く）を青色防犯パトロールカーとして指定したことにより、より地域に密着した自主的なパトロール活動の体制確立が進んだ。</p> <p>■防犯啓発用品 安全なまちづくりの一環として、「防犯パトロール中」のぼり旗を購入し、各自治会に配布することで、地域防犯の取り組みを推進した。 配 布 数：450枚</p> <p>■自動通話録音機 振り込め詐欺の被害防止を目的に、自動で応答メッセージが流れ通話内容が録音される装置を167台購入し、市内在住の65歳以上の高齢者に対して無償貸与を行った。</p>
3 成 果	■防犯キャンペーンにおいて、多様化する詐欺の手口やその対処法等について、声掛けを行ったことで市民の防犯意識を高め、また自動通話録音機の無償貸与を行ったことで詐欺被害を未然に防止する効果が得られた。平成28年の振り込め詐欺被害は、平成27年の7件20,260,900円から、3件4,189,848円に大きく減少した。

安心安全推進課		一般会計						
		款		項		目		
		08	土木費	02	道路橋りょう費	04		
政策1	健やかで安心できるまち	事業名		交通安全対策事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
15,765,000	14,982,046	0		782,954	95.0%			
1 事業目的	交通事故の起りにくいまちにするため、主に児童・生徒の通学時の安全確保や、街頭指導を始めとする各種啓発活動等を行い、市民の交通安全に対する意識の向上を図る。							
2 事業内容	<p>■交通指導員の設置及び運営（24名）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童及び生徒の通学時における立哨指導の実施（毎朝／市内40箇所）</li> <li>交通安全教室の実施（4～6月／市内全小学校）</li> <li>各種行事における立哨指導（18回、延べ103人）</li> </ul> <p>■交通安全啓発活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全街頭指導 各季の交通安全運動期間及び交通安全フェアにて啓発活動を実施した。（計5回）</li> <li>スケアード・ストレイト交通安全教室 実際の事故現場の再現を目の当たりにすることで交通事故の恐ろしさを実感させた。特に自転車乗用における交通ルールについて重点的に安全教育を行った。 実施日：平成28年10月1日（土） 実施場所：南中学校</li> <li>自転車安全利用講習会 自転車事故防止を目的に、正しい自転車走行の仕方について、教習所のコースを使った実車講習等を行った。 実施日：平成28年11月7日（月） 実施場所：鶴ヶ島自動車教習所</li> <li>新入学園児の交通安全教室【鶴ヶ島市交通安全母の会】 小学校入学を控えた園児たちを対象に、道路の安全な歩行及び横断の仕方などについて、パネルシアターとエプロンシアターを用いて安全教育を行った。 実施日：平成29年2月2日（木） 実施場所：鶴ヶ島保育所</li> </ul>							
3 成 果	■啓発活動や、対象及び目的を明確にした効果的な安全教育の実施により、市内における交通死亡事故の発生を防ぐことができた。 (平成28年1月以降、交通事故死者数0人)							

安心安全推進課		一般会計																		
		款		項		目														
		09	消防費	01	消防費	02	防災費													
政策1	健やかで安心できるまち		事業名		災害対策事業															
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率													
6,308,000	5,800,256		0		507,744		92.0%													
1 事業目的	情報連絡設備や備蓄品等の整備を行い、市民の安全を図る。																			
2 事業内容	<p>■防災行政無線（固定系・移動系）の維持管理及び迅速かつ的確な情報伝達手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・固定系防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換修繕 8か所</li> <li>・防災行政無線の聞き取りにくい世帯等への防災ラジオの給付 68台</li> <li>・全国瞬時警報システム（Jアラート）による伝達訓練 3回</li> </ul> <p>■災害への被害予防対策と応急対策の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・備蓄品、資機材の購入</li> </ul> <table> <tbody> <tr> <td>1 アルファ化米（田舎ごはん）</td> <td>3,300食</td> </tr> <tr> <td>2 アルファ化米（梅がゆ）</td> <td>300食</td> </tr> <tr> <td>3 保存水（2ℓ）</td> <td>1,794本</td> </tr> <tr> <td>4 ウエットタオル</td> <td>600個</td> </tr> <tr> <td>5 ポータブルトイアームレスト</td> <td>23台</td> </tr> <tr> <td>6 カセットコンロ</td> <td>22台</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間企業等との災害時協定の締結</li> </ul> <p>災害時における家屋被害認定調査に関する協定      協定内容：家屋被害認定調査への埼玉土地家屋調査士会会員の派遣など      協定先：埼玉土地家屋調査士会      協定締結日：平成28年10月4日</p>								1 アルファ化米（田舎ごはん）	3,300食	2 アルファ化米（梅がゆ）	300食	3 保存水（2ℓ）	1,794本	4 ウエットタオル	600個	5 ポータブルトイアームレスト	23台	6 カセットコンロ	22台
1 アルファ化米（田舎ごはん）	3,300食																			
2 アルファ化米（梅がゆ）	300食																			
3 保存水（2ℓ）	1,794本																			
4 ウエットタオル	600個																			
5 ポータブルトイアームレスト	23台																			
6 カセットコンロ	22台																			
3 成 紀	<p>■防災行政無線の適正な管理や、市内全域での情報伝達訓練を実施することにより、市民への情報伝達手段の確保が図られた。</p> <p>■埼玉土地家屋調査士会と災害時協定を締結することにより、災害対応の充実が図られた。</p>																			

(単位：円)

生活環境課		一般会計									
		款		項		目					
		04	衛生費	01	保健衛生費	05	環境衛生費				
政策3	快適に暮らせるまち	事業名			環境問題啓発事業						
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
452,000	441,220	0		10,780		97.6%					
1 事業目的	地球温暖化対策を実施するとともに、環境学習会や啓発展示等を通じて、環境意識の醸成を図る。										
2 事業内容	<p>■eコラボサイエンス教室 NPO法人鶴ヶ島第二小学校区地域支え合い協議会と共にeコラボサイエンス教室を実施（計6回）し、環境学習施設の有効活用を図るとともに、地域の人材を活かした身近な環境学習の機会を提供した。</p> <p>■環境啓発展示 ・市役所ロビーにおいて、6月の環境月間に環境月間啓発展示を実施した。 ・市役所ロビーにおいて、12月の地球温暖化防止月間に地球温暖化防止月間啓発展示を実施した。</p> <p>■緑のカーテン事業 ・省エネルギーや地球温暖化対策のため、緑のカーテンを普及促進した。 ・市民への啓発とともに、市民団体と共に「緑のカーテン展覧会」を実施した。</p>										
3 成 果	<p>■eコラボサイエンス教室に、計97名の小学生の参加があり、身近な環境学習の機会を提供できた。</p> <p>■環境啓発展示により、市民の環境意識の醸成を図ることができた。 ・6月（20団体）・12月（2団体）</p> <p>■緑のカーテン展覧会の作品募集に33件（個人部門21作品、団体部門12作品）の応募があり、緑のカーテンの普及を図ることができた。</p>										

(単位：円)

生活環境課		一般会計									
		款		項		目					
		04	衛生費	01	保健衛生費	05	環境衛生費				
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		浄化槽設置整備推進事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
6,140,000	4,876,000	0		1,264,000		79.4%					
1 事業目的	単独処理浄化槽及び汲取り便槽から合併処理浄化槽へ転換することにより、水質の汚濁防止及び土壤汚染防止対策を推進し、河川の自然環境の保全と生活環境の保全を図る。										
2 事業内容	■浄化槽整備区域内において、自己居住用の既存単独処理浄化槽及び汲取り便槽から、合併処理浄化槽に転換する者に補助金を交付した。										
3 成果	<p>■8名（8基）分で合計4,876,000円の補助金を交付した。</p> <p>【内訳】</p> <p>5人槽（1基あたり）542,000円 2基      5人槽（1基あたり）587,000円 1基      7人槽（1基あたり）641,000円 5基</p>										

(単位：円)

生活環境課		一般会計							
		款		項		目	決算書頁		
		04	衛生費	01	保健衛生費	06	公害対策費		
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		公害対策事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
4,627,000	4,295,755		0		331,245	92.8%			
1 事業目的	継続的に公害調査を実施するとともに、監視体制の充実を図り、公害を防止する。また、鳥獣被害に対応する。								
2 事業内容	<p>■公害調査</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気汚染調査の実施</li> <li>・水質汚濁・地下水水質調査の実施</li> <li>・騒音・振動調査、自動車騒音常時監視調査の実施</li> <li>・臭気測定調査の実施</li> </ul> <p>■公害対応、空き地管理指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水路等への油流出事故、騒音、悪臭、野外焼却等の公害苦情に対する対応及び空き地の雑草繁茂等に対する所有者への指導を実施した。</li> </ul> <p>■公害等届出事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各法令に基づく届出の受理事務。</li> </ul> <p>■大気中の放射線量の測定、測定機器の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎敷地内及び市内公園等の大気中の放射線量を測定し公表した。</li> <li>・市民への空間線量簡易測定器の貸出及び機器の整備を実施した。</li> </ul> <p>■有害鳥獣防除及び鳥獣事務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アライグマなどの有害鳥獣の防除に関する事務を実施した。</li> <li>・ケガ等を負った鳥獣を保護し、県指定の獣医師へ搬送した。</li> </ul>								
3 成 果	<p>■公害調査の継続的な実施により、現状の把握ができた。また、公害防止に有益であった。</p> <p>■アライグマの被害相談には積極的にワナを貸与し、防除を行った結果、51頭が捕獲された。</p>								

生活環境課		一般会計									
		款		項		目	決算書頁				
		04	衛生費	02	清掃費	01	塵芥処理費				
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		地域環境美化推進事業							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率					
4,814,000	3,633,556	0		1,180,444	75.5%						
1 事業目的	良好な生活環境を保全し、ごみの少ない清潔なまちにする。										
2 事業内容	<p>■不法投棄防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの不法投棄防止の啓発看板の設置を行った。</li> <li>・市内重点箇所について、不法投棄監視パトロール業務を週1回実施した。</li> <li>・ごみ集積所における不法投棄物の回収及び運搬を行い、回収した不法投棄物の処理を行った。</li> </ul> <p>■きれいなまちづくり運動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ協議会の協賛をいただき、年2回、春と秋に自治会や団体が参加し、市内の道路や公園など地域の一斉清掃を実施した。一斉清掃で搬出された可燃ごみ、不燃ごみ、道路側溝の汚泥を回収後、それぞれの処理施設に搬入し処理を行った。</li> <li>・春期一斉清掃 実施日：平成28年 5月22日（日）</li> <li>・秋期一斉清掃 実施日：平成28年10月16日（日）</li> <li>・毎月1回、自治会などが行う道路の側溝清掃で排出された汚泥を回収し処理した。</li> </ul>										
3 成果	<p>■不法投棄防止対策の強化及び不法投棄された処理困難物等の処理を行い、環境美化に努めた。</p> <p>■市民・事業者・市の協働により、一斉清掃を実施し、良好な環境保持に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・春期一斉清掃（参加団体89団体）</li> <li>・秋期一斉清掃（参加団体88団体）</li> </ul>										

生活環境課		一般会計							
		款		項		目			
		04	衛生費	02	清掃費	01	塵芥処理費		
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		5R推進事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
870,000	732,630		0		137,370	84.2%			
1 事業目的	ごみの減量化と資源の再利用に向けたリフューズから始める「5R」についてより一層の普及啓発を行うとともに、その取組を推進する。								
2 事業内容	<p>■ 5R推進事業補助金        • エコ鶴市民の会が実施する5R推進事業（討論会、野菜くずの堆肥化、リサイクルマーケット等）に対し補助金を交付した。</p> <p>■ 集団資源回収        • ごみの減量化及び資源の再利用を図るため、家庭から排出される資源（紙類、布類、生きビン、カレット、金属類）を回収する市内の登録団体に対し、報償金を交付した。1団体への年間交付限度額を10万円とし、年2回に分けて交付を行った。</p>								
3 成果	<p>■ エコ鶴市民の会主催で、環境おしゃべりカフェ、資源ごみの活用についての取組み（野菜くずの堆肥化等）、リサイクルマーケットを行い5Rの推進に努めた。</p> <p>■ 集団資源回収の実施により廃棄物の減量化・資源化の促進に努めた。</p>								

産業振興課		一般会計									
		款		項		目					
		05	労働費	01	労働諸費	01	労働諸費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		就職支援事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率 繰越除く執行率				
737,000	668,420		0		68,580		90.7%				
1 事業目的	就職を希望する方への求人情報の提供や窓口相談、セミナー・面接会の実施などの就労支援を行う。										
2 事業内容	<p>■鶴ヶ島市ふるさとハローワーク（月～金曜日）9時～17時</p> <p>■就職支援ミニセミナー 平成28年9月23日 平成29年2月24日 市役所</p> <p>■内職相談（火、木曜日）10時～12時・13時～16時</p> <p>■障害者就職面接会（平成28年9月20日 坂戸市文化会館） 主催：ハローワーク川越、ハローワーク東松山、坂戸市、埼玉労働局、 埼玉県 共催：鶴ヶ島市、川越市</p> <p>■若者就職面接会（平成28年10月7日 ウエスター川越、 平成29年2月7日 富士見市民文化会館） 主催：ハローワーク川越、ハローワーク東松山、川越市、坂戸市、 鶴ヶ島市、富士見市、ふじみ野市、川越地域雇用対策協議会</p> <p>■福祉の仕事就職面接会（平成29年2月17日 ウエスター川越） 主催：ハローワーク川越、ハローワーク東松山、埼玉県社会福祉協議会 共催：川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、富士見市、ふじみ野市、東松山市、 小川町、嵐山町、川島町、吉見町、滑川町、鳩山町、ときがわ町、 東秩父村</p> <p>■保育士就職面接会（平成28年12月6日 ウエスター川越）【新規】 主催：ハローワーク川越、川越市、坂戸市、鶴ヶ島市、富士見市、 ふじみ野市</p> <p>■鶴ヶ島市地域企業就職面接会（平成29年2月22日 鶴ヶ島市女性センター）【新規】 ※実施主体は女性センター 主催：鶴ヶ島市・ハローワーク川越</p>										
3 成 果	■ハローワーク川越などと連携し、鶴ヶ島市ふるさとハローワークの運営、就職支援ミニセミナーの開催、各種就職面接会を実施し、就職を希望する方への就労支援を行うとともに、内職相談室を運営し、家内労働を希望する方及び家内労働者を探している事業所の間に入り斡旋を行った。										

(単位：円)

産業振興課		一般会計									
		款		項		目					
		06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		農地維持保全事業					
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率				
115,000	114,032		0		968		99.2%				
1 事業目的	<p>農業の健全な発展と農地の有効な利用を促進するとともに、遊休農地を活用した市民農園の増大を図る。</p>										
2 事業内容	<p>■農地維持保全経費（114,032円）      3市民農園（下新田・太田ヶ谷・五味ヶ谷農園）の土地賃借料      ※ 開設主体は、公益社団法人鶴ヶ島市シルバーパートナーメンバーへ移管済。</p> <p>■農地中間管理事業（遊休農地活用対策）      遊休農地等を借り受け、その農地を農業経営の規模拡大を図る地域の中心農家や企業に貸し付ける農地中間管理事業を農地中間管理機構から受託し、実施した。</p>										
3 成 果	<p>■市内3か所（五味ヶ谷、太田ヶ谷、下新田）に、合計8,909m<sup>2</sup>、2.17haの市民農園を開設し、市民の農業体験の場の提供及び有効な農地利用に寄与した。</p>										

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目			
		06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費		
政策2	活力に満ちたまち			事業名	特産品づくり推進事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
317,000	304,545		0		12,455	96.1%			
1 事業目的	産・学・官・民の連携のもと、健康、福祉、観光などの分野と結び付けることにより、まちおこし的な事業展開の中でサフランの特産化を目指す。								
2 事業内容	<p>■サフラン生産農家の育成・支援        -新規生産モデル農家への球根貸与        -球根定植、掘り上げからメシベ収穫までの生産に係る技術指導        -年2回の土壤診断の実施        -生産農家で構成するサフラン研究会の開催</p> <p>■サフラン染体験教室        開催日：平成28年7月13日（水）綿ストール                  平成28年8月20日（土）綿エコバック        会場：農業交流センター</p> <p>■サフランフェスタ（産業まつり）        開催日：平成28年11月13日（日）        会場：運動公園        内容：花とメシベの摘み取り体験、サフランティーの試飲、              サフラン資料の展示、メシベ、サフラン加工品販売</p> <p>■「サフラン通信」発行：第8号（秋）、第9号（冬）</p>								
3 成果	<p>■生産についてはサフラン生産モデル農家育成事業による生産モデル農家数が、前年比8戸増の18戸となったことから、メシベの生産量も前年比67.7%増の1,097.9gとなった。</p> <p>■普及については市民サポートーズ会員数が、前年比15人増の95人となった。</p>								

(単位：円)

産業振興課		一般会計					
		款		項		目	
		06	農林水産業費	01	農業費	03	農業振興費
政策2	活力に満ちたまち			事業名		新規就農支援事業	
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額		執行率
3,000,000	3,000,000		0		0		100.0%

  

1 事業目的	鶴ヶ島市内において農業経営を始めようという意欲のある新規就農者を育成・支援し、新たな農業の担い手を確保する。
2 事業内容	<p>■青年就農給付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県、いるま野農業協同組合、農業委員会などの関係機関と連携を図り、新規就農支援を行った。</li> <li>・対象者（研修生）2人</li> <li>・経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対し青年就農給付金を支給することにより就農後の定着を図った。</li> </ul> <p>鶴ヶ島市青年就農給付金 対象者2人（3,000,000円）</p>
3 成 果	<p>■青年就農者に就農給付金を交付することにより、今後市の農業振興を担う農家の経営の安定化を支援した。</p> <p>■平成28年度は、青年就農者2人に150万円ずつ支給した。</p>

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目			
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費		
政策2	活力に満ちたまち		事業名		産業活力振興事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
2,393,000	2,392,160		0		840	100.0%			
1 事業目的	<p>地域住民のコミュニケーションの場を創出し、市の産業を広くPRすることで、郷土意識・観光資源の醸成を図る。また各種イベントに参加することで、市の特産品・商品のPRを行うとともに、鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」を通じて市のプロモーションを行う。</p>								
2 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第22回サマーカーニバルin鶴ヶ島への補助金執行           <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年7月16日（土）</li> <li>・会場 鶴ヶ島西口商店会通り</li> </ul> </li>   <li>■ 鶴ヶ島産業観光まつり運営委員会への補助金執行           <ul style="list-style-type: none"> <li>【鶴ヶ島桜まつり】</li> <li>第32回鶴ヶ島桜まつり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年3月26日（土）～4月10日（日）</li> <li>・会場 運動公園</li> <li>・イベント 平成28年4月2日（土）（出店は2日・3日）</li> </ul> </li> <li>【鶴ヶ島産業まつり】</li> <li>第31回鶴ヶ島産業まつり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日 平成28年11月12日（土）・13日（日）</li> <li>・会場 運動公園</li> </ul> </li> </ul> </li>   <li>■ 観光PRイベント・展示への参加           <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内 10回（延べ38日）</li> <li>・県外 5回（延べ14日）</li> </ul> </li>   <li>■ 鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」の活用           <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種イベントへの参加</li> <li>・ゆるキャラグランプリ2016への参加 平成28年7月22日～10月24日</li> </ul> </li> </ul>								
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベントの開催により、地域住民のコミュニケーションの場を創出するとともに、市内産業のPRなどによる地域経済の活性化を図った。また、市外開催の各種イベントへの参加や、鶴ヶ島イメージキャラクター「つるゴン」の活用、市の観光や特産品の積極的なPRを行い、シティプロモーションの推進を図った。</li> </ul>								

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目			
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費		
政策1	健やかで安心できるまち		事業名		消費生活啓発・相談事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
6,478,000	5,929,398		0		548,602	91.5%			
1 事業目的	安心して安全で豊かな消費生活を営むことができるまちづくりのために、消費生活に関する情報や知識の普及に努め、消費生活の向上を図るとともに、消費生活相談員を配置し、苦情処理体制の充実、強化を図る。								
2 事業内容	<p>■消費生活センター 相談日時 月～金曜日 9時30分～12時、13～15時（来所および電話相談） 土曜日 9時30分～12時（電話相談のみ） ※年末年始、祝日を除く</p> <p>弁護士相談（要予約） 日 時 每月第4金曜日（原則） 13時～17時（相談時間30分） 申込み 毎月5日（土・日曜日、祝日の場合は翌開庁日） 9時30分から電話で受付</p> <p>■啓発品の作製 メッセージカード、クリアファイル、シールを作製し、配布した。</p>								
3 成 果	■消費生活センターの運営、弁護士相談の実施、消費生活啓発講座の開催により、市民の消費生活の向上を図った。また、啓発品の配布などにより、消費生活に関する情報及び消費生活センターの周知を図った。								

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目			
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費		
政策2	活力に満ちたまち		事業名		ふるさと振興発信事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
506,635,000	486,390,365		0		20,244,635	96.0%			
1 事業目的	ふるさと納税制度を積極的に活用することにより、市内産業の活性化やシティプロモーションを推進する。								
2 事業内容	<p>■ ふるさと納税の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税制度を活用した寄附の受け入れ</li> <li>・パートナー企業への発注・支払</li> <li>・新たなパートナー企業の発掘</li> <li>・ポータルサイトの活用やパートナー企業と連携したP.R活動 六本木ヒルズ夏まつり：港区 7月（9日間）、ふるさと納税大感謝祭：横浜市 10月（2日間）、ふるさと納税フェア：新宿区 10月（1日間）</li> </ul> <p>■ ふるさと納税管理システム導入</p>								
3 成 果	■ パートナー企業と連携し、ふるさと納税返礼品の発送やPR活動を行い、3年連続寄附受入額埼玉県内1位となった。また、ふるさと納税管理システムの導入により、寄附受入や発注作業などの効率的運用を図った。								

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目	決算書頁		
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費		
政策2	活力に満ちたまち		事業名		起業・創業支援事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
45,000	45,000		0		0	100.0%			
1 事業目的	商工会などとの連携のもと、地域における起業者を支援することで開業率の向上を目指し、地域の活性化及び雇用の確保する。								
2 事業内容	<p>■創業支援事業計画に基づく創業塾 鶴ヶ島市商工会に対し鶴ヶ島市起業・創業支援事業（創業塾）補助金を交付し「創業塾」を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特定創業支援事業「つるがしま創業塾」の開催 全4日間 開催日 平成29年2月18日、2月25日、3月18日、3月25日</li> </ul>								
3 成 果	■つるがしま創業塾を4回開催し、8人が受講した。その内の2人に對し「特定創業支援事業を受けた証明書」を発行した。								

産業振興課		一般会計									
		款		項		目					
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費				
政策2	活力に満ちたまち			事業名		起業・創業支援事業（縦越明許費分）					
予算現額	支出済額		翌年度縦越額		不用額		執行率				
10,000,000	9,910,739		—		89,261		99.1%				
1 事業目的	商工会などとの連携のもと、地域における起業者を支援することで開業率の向上を目指し、地域の活性化及び雇用の確保を図る。										
2 事業内容	<p>■「チャレンジショップ鶴ヶ島“つるカフェ”」の設置・運営        ・つるカフェ概要（平成29年3月4日オープン）          住所 鶴ヶ島市大字上広谷10番地6          面積 35.20m<sup>2</sup> (10.65坪)          客席 15席          設備 シンク、ガスコンロ、冷蔵庫、食洗器、電子レンジ、炊飯器、食器類、無線LAN、プロジェクターなど        ・経営支援          経営指導、メニュー開発、接客トレーニング、広告宣伝など        ・飲食店経営セミナー「初心者のための飲食店経営について」の開催</p> <p>■起業・創業支援パンフレットの作成        ウエルカムガイドブック「雨恋いのまち 鶴ヶ島」 21,500部        ※作成した資料は、都市計画課の「企業誘致推進事業（縦越明許費分）」（決算書頁111）と共にものを作成している。（同時発注により費用を抑制）</p>										
3 成果	■商工会などと連携し、市内商店街の店舗を活用して「チャレンジショップ鶴ヶ島“つるカフェ”」を整備しオープンした。この“つるカフェ”を活用し、創業希望者が経営実践を積み営業手法を学ぶとともに、専門家による経営支援やセミナーを行い創業を目指している方を支援した。										

(単位：円)

産業振興課		一般会計							
		款		項		目			
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費		
政策2	活力に満ちたまち			事業名	雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
3,348,000	3,348,000		0		0	100.0%			
1 事業目的	鶴ヶ島の地域資源である「脚折雨乞」を核とした市民主体のまちづくりを推進し、地域の活性化、郷土意識の醸成及び地域産業の振興を図る。								
2 事業内容	<p>■鶴ヶ島産業観光まつり運営委員会への指定補助による賑わい創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビ生中継放送（地デジ11Ch 14時30分～16時43分）及び記録撮影</li> <li>・生中継映像の同時インターネット配信（Ustreamを活用）</li> <li>・海外プレスツアーの実施</li> <li>・次年度以降のアクションプランの策定</li> </ul>								
3 成 果	■平成27年度に策定した脚折雨乞を軸としたまちづくりの基本構想「雨乞いのまち鶴ヶ島活性化ビジョン」に基づき、脚折雨乞行事当日の賑わいを創出した。また、東京五輪と同時期開催となる平成32年の脚折雨乞に向けた海外向けプロモーションなどの試行的取組みを行うとともに、行事のない3年間に取り組むべき事業についての検討を行った。								

(単位：円)

産業振興課		一般会計									
		款		項		目					
		07	商工費	01	商工費	02	商工振興費				
政策2	活力に満ちたまち	事業名		雨乞いのまち鶴ヶ島活性化事業（繰越明許費分）							
予算現額	支出済額	翌年度繰越額		不用額		執行率	繰越除く執行率				
4,487,000	4,487,000	—		0		100.0%					
1 事業目的	鶴ヶ島の地域資源である「脚折雨乞」を核とした市民主体のまちづくりを推進し、地域の活性化、郷土意識の醸成及び地域産業の振興を図る。										
2 事業内容	<p>■鶴ヶ島産業観光まつり運営委員会への指定補助による賑わい創出事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場制作・警備・清掃</li> <li>・ビジョンカーによる大型モニターでの映像配信</li> <li>・休憩案内所の設置・運営</li> <li>・若葉駅前における国際交流フェアの会場設営・運営</li> <li>・ポスター・チラシ・幟旗・看板・テレビ番組等による行事のプロモーション</li> <li>・ポロシャツの製作・販売 等</li> </ul>										
3 成 果	■平成27年度に策定した脚折雨乞を軸としたまちづくりの基本構想「雨乞いのまち鶴ヶ島活性化ビジョン」に基づき、脚折雨乞行事開催時の雷電池及び若葉駅前広場会場の整備、案内誘導、休憩所の設置、イベントの開催などによる賑わいを創出した。										

農業交流センター		一般会計							
		款		項		目			
		06	農林水産業費	01	農業費	04	農業交流センター費		
政策2	活力に満ちたまち		事業名		水土里のふるさと推進事業				
予算現額	支出済額		翌年度繰越額		不用額	執行率	繰越除く執行率		
10,903,000	10,900,750		0		2,250	100.0%			
1 事業目的	<p>高倉地区に残る屋敷林や水辺、里山などの風景を市民共有の財産として保全・整備する団体が行う活動を支援する。また、国の交付金を受けて進めている、地域資源と福祉を活用した「農」の取組を支援する。</p>								
2 事業内容	<p>■ 地域交流イベント等の開催      「高倉ふるさとづくりの会」との共同で菜の花まつり、ふるさとまつりを開催するとともに、先進地視察研修を行った。</p> <p>■ 多面的機能支払交付金事業の実施      地域の組織が事業計画及び活動計画を作成、市と協定を結び実施した共同活動（草刈りや泥さらい、菜の花の景観整備事業など）を実践する場合に、地区内の面積（農振農用地）に応じて支援交付金を支払う。      事業対象：高倉ふるさとづくりの会</p> <p>■ 景観形成ボランティアの受け入れ      地域資源である農村風景、水辺、森などの維持・管理活動に市外から人・団体・企業を呼び込む「レンジヤーズプロジェクト」を4回実施した。      参加者 70人。</p> <p>■ 農山漁村の地域資源と福祉を活用した「農」の取組の支援      農林水産省の「農山漁村振興交付金（都市農村共生・対流及び地域活性化対策）」の採択を受けた高倉ふるさとづくりの会に事業資金を貸し付けた。</p> <p>取組内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者雇用の質の向上に係る取組             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 鶴ヶ島市における障害者雇用の実態調査</li> <li>2 鶴ヶ島市における障害者雇用の分析</li> <li>3 障害者雇用に取り組む農家・法人への先進地視察</li> </ol> </li> <li>・ 障害者雇用を継続的に取り組むためのサポート体制の整備に係る取組             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 障害者雇用に関する地域への理解促進活動</li> <li>2 農業経営・受入体制等を学べる勉強会</li> <li>3 福祉サービスとしての事業スキームの策定</li> </ol> </li> </ul>								
3 成 果	<p>■ 交流人口（イベント等の参加者・受入者の人数）が増加した。      想定交流人口 650人／実際の交流人口 709人</p>								